

| 発表番号 | 開始時刻 | 終了時刻 | 発表代表者 | 所属 | 発表題目 | 発表概要 |
|---|-------|-------|---------------|--|---|---|
| | 9:30 | 9:40 | 開会の挨拶(飯尾 淳) | | | |
| 【セッション 人間中心設計の実践と応用 座長:飯尾 淳(中央大学)】 | | | | | | |
| 1 | 9:40 | 10:00 | 濱島空 | 千葉工業大学大学院 | サービス利用経験満足度の評定評価に期待値が及ぼす影響に関する研究 | ユーザーのサービス利用評価は、事前の期待や使用に対するモチベーションなどの影響を受け異なることが指摘されている。本研究では、期待の違いをサービス内容の事前の情報量と経験の有無の違いによって異なると仮定し、試用実験によってサービス利用満足度評価がどのように異なるかについて検討した。 |
| 2 | 10:00 | 10:20 | 鱗原晴彦 | 株式会社U'eyes Design | 自動運転社会におけるHAI(Human AI Interaction)の考察 | AI社会/自動運転社会における様々なサービスのタッチポイント/HMIを、人間がAIと協調する接点としてHAIと捉える。利用者と自動運転システムをストレスなく繋ぐためのHAIを、関与者間の『責任の境界』という捉え方と合わせて、利用者の視点に立って考察する。 |
| 3 | 10:20 | 10:40 | 山田菊子 | 東京工業大学 | 「ユーザー調査設計プロセス」の提案による建設コンサルタントのユーザー調査改善検討 | 建設コンサルタントが実施したユーザー調査を対象として、「ユーザー調査設計プロセス(案)」を提案した上でプロセスに則り調査を設計した。このプロセスの概要と複数の調査事例を想定して推定した効果と課題を報告する。 |
| 4 | 10:40 | 11:00 | 柳田那由多 平社和也 | 玉川大学 | セラピーロボット開発における人間中心設計手法を用いたデザインコンセプトの策定 | 筆者らは、ストレスを抱えている人を癒すセラピーロボットの開発を行っている。本研究では、ユーザーに寄り添ったロボット開発のため、人間中心設計手法を用いて要求仕様を策定し、それを踏まえた外観・機能のデザインを行った。 |
| 5 | 11:00 | 11:20 | 島崎 龍太郎 | クリナップ株式会社 | キッチンの未来ビジョンマップの作成に関する研究 | 企業活動を行う上で、将来構想や地域共生など多様な要素に対応した行動計画の策定が重要となる。そこで今後の行動指針となる『キッチンの未来ビジョン』を研究し、その作成に関するプロセス等の研究結果を報告する。 |
| | 11:20 | 13:30 | 昼休憩/評議委員会/総会 | | | |
| 【セッション 人間中心設計の手法とツールの開発 座長:飯塚重義(神奈川大学)】 | | | | | | |
| 6 | 13:30 | 13:50 | 大橋正司 | サイフォン合同会社 | 開発チーム向け対話支援ツール Morrisの紹介 | 多様な専門性を生かしたチームビルディングを可能とするため、開発チーム内での専門家同士の相互理解を深め役割の確認や課題意識の共有を簡便に行える、カードゲーム型の対話支援ツールを開発しました。 |
| 7 | 13:50 | 14:10 | 牧野祐亮 | 千葉工業大学 大学院 | UXデザインにおけるアイデア収束に関する研究 | UXデザインの現場で行われているアイデア収束は、基準を設けてアイデアを分類・評価し、総合的に良いと考えられるアイデアを選出することがよく行われる。しかし、アイデアを絞り込む際の基準や手法については、十分な研究がされていない。本研究では、UXデザインのコンセプト作成前のアイデア収束において、解決策と文脈を考慮したアイデア収束法を提案する。 |
| 8 | 14:10 | 14:30 | 尾形慎哉 | 株式会社グラグリッド | 組織のダイナミズムを捉えたチームメタファグラムの可能性 | ビジネスの変革を目指す組織において、具体的な実行プロセスと同時に重要となる、組織の関係性や文化に合わせたマネジメントの最適化に向けて、チームメンバーの特性を把握しやすくするためのメタファーによる可視化(チームメタファグラム)の効果や可能性について提案する。 |
| 9 | 14:30 | 14:50 | 山本 薫 | 武蔵野美術大学大学院 | VUCA社会に必要な「内発的動機」を開発するための、人間心理・行動に即したメソッド研究 | VUCA社会では、個人が仕事やキャリアを考える時、既存の成功パターンやデータだけに囚われず、「内発的動機」に基づいて考えることが重要になる。本論では、心理学・行動経済学の知見を活用しながら、外部環境に左右されて捉えにくい「内発的動機」に自覚的になるメソッドについて論じる。 |
| 【セッション 人間中心設計の教育 座長 安藤 昌也 (千葉工業大学)】 | | | | | | |
| 10 | 15:10 | 15:30 | 白澤洋一 | HCD-Net 人間中心設計専門資格認定センター 基礎知識認定資格検討ワーキンググループ | 人間中心デザイン基礎知識体系の提案 - 日本における“デザイン”の拡がりへの対応 - | 本研究では、人間中心デザインの基礎知識習得のカリキュラム構築を目的とし、有識者へのヒヤリングを行い人間中心デザイン基礎知識体系の精緻化、ならびに研修・認定制度の要件を明らかにしたため報告する。 |
| 11 | 15:30 | 15:50 | 大崎理乃 | 東京都立産業技術大学院大学 | HCD教育におけるスループットの検討 - デザインプロジェクトの設計をテーマとした実践の報告 - | 専門職教育において、教育プログラムで学習した理論や方法の意味を踏まえて現実場面に適用することの支援は、重要な観点のひとつである。本稿では、AIITでのプロジェクト設計をテーマにした講座について、実践内容を報告する。 |
| 12 | 15:50 | 16:10 | 和井田 理科 | 株式会社JVCケンウッド・デザイン | HCD 普及・啓発活動実践者のためのHCD 入門講座雛形(第5報) - 教育実践者からのフィードバックを得る活動の報告 - | HCD-Net講師拡大WGでは、HCD入門者向けの教材と教える人向け手引書を作り、普及活動をしてきた。教材利用者及び未使用者からのフィードバックについて報告する。 |
| 13 | 16:10 | 16:30 | 加藤公一 | HCD-Net東海支部 | HCD-Net教育事業部の東海地区活動報告 | 近年、UXデザインが製造業にも広がりつつあり、製造業であるメーカーが多く存在する東海地方でもUXデザイン教育への要望が増えてきました。そこで、HCD-Net教育事業部の東海地区では主にエンジニアに対するUXデザイン教育に力を入れてきました。本発表ではその教育活動の取り組みについて報告します。 |
| 14 | 16:30 | 16:50 | 飯尾 淳 | 中央大学 | UXの良し悪しに関する学生の意識 | よいUXと悪いUXの具体例について学生はどう考えているのか、簡単な意識調査を実施した。自由記述形式で提出された学生の意見に対して、簡単な計量テキスト分析を行いその傾向について考察した結果を報告する。 |
| | 16:50 | 17:10 | 表彰式・閉会式 | | | |